



岐阜市

# 議会だより

平成31年1月31日発行 発行責任者: 岐阜市議会議長 編集: 議会広報特別委員会

第60号

## 【主な内容】

行政視察に行ってきました… 2	一般質問（11人が登壇）…… 9
12月会議で決めたこと…… 4	議会報告会のお知らせ…… 15
どえな予算のあと？…… 5	市民の声…… 15
委員会レポート…… 6	議会だよりクイズ…… 16



### ▲国指定重要無形民俗文化財「岐阜神楽」

約700年の古い伝統と歴史がある岐阜神楽。その中でも「大大神楽」は、最もおごそかで丁重なものである。舞人・楽人あわせて12名以上で奏され、所要時間は7～8時間を要す。

# 行政視察に行ってきました

## 総務文教厚生常任委員会 (平成30年10月1日～10月3日)

### ●大分県杵築市

調査事項：杵築終活応援プロジェクトについて

終活応援プロジェクトは、高齢者が在宅で生活し、人生の看取についての不安を解消する支援を模索するなかで始まった。人生の最後に備えて、家族へのメッセージや伝えておくべき事柄を書き記す終活本「きつきネバーエンディングノート」を作成。ノートは、①わたしについて(自分史)②もしものときは③エンディング④大切な人たちへ⑤財産についての5章で構成され、タイトルの「ネバーエンディング(終わらない)」には「死は終わりではなく、思いをつなぐこと」との意味が込められており、自分の思いを次世代へ伝えることが重要な目的の一つになっている。

#### 【委員会の所見】

エンディングノートには、法的根拠はないが、家族に対し、存命中や死後において家族が悩む負担を軽減でき、本人の人生を家族に伝える役目も大いにある。杵築市で取り組むには、「終活」を文化的位置づけにし、エンディングノート記入も個人のライフスタイルの一環として取り組む環境を整備する必要がある。今、何をすべきかを見つめ直すきっかけ、

人生の終わりを前向きに「終活」に取り組む第一歩として「エンディングノート」を作成することは、より豊かな明るい老後を送るために必要なことと思われる。

### ●春日市総合スポーツセンター (福岡県春日市)

調査事項：総合スポーツセンターの運営について  
【委員会の所見】

春日市総合スポーツセンターは、指定管理者制度でコナミスポーツと春日まちづくりパートナーズのJVで運営されている。メリットは、民間のノウハウが活かされ住民サービスの向上や管理運営の効率化が図れることである。人口規模等で比較はできないが、管理運営のシステムは参考にできるところがあった。メインアリーナ、サブアリーナは避難所としての機能が充実しており、杵築市においても、大谷体育館や石田スポーツセンターを避難所として、機能を充実させることが急務と考えられる。



春日市総合スポーツセンターでの研修

## 議会運営委員会 (平成30年11月19日～11月21日)

### ●長崎県庁 (長崎市)

調査事項：離島の交通政策について

#### 【委員会の所見】

県当局と杵築市の海上、航空路の政策について要望、意見交換を実施した。国境離島法の制定後、航空運賃が新幹線並みになったことにより平成29年度は、前年度より利用者数は8.2%増加し、今年度も好調を維持している。現在の杵築空港の滑走距離で運行できるのはATR42型機が唯一の候補であり、継続して県としてもORCの支援に努めていくとのことである。また離島航路(杵築⇄博多間)は、前年比4.5%増加している。ジェットフォイルは高速性や、揺れが少なく快適性に優れ、本土における高速交通体系と同様に重要な役割を担っており、島民の定住や交流人口の拡大に大きく貢献している。更新については、導入より27年～33年が経過しており新船の導入が必要なことは承知しているが、船価が導入当時の2倍になっており、新船を作るラインでもない。ジェットフォイルが就航している他県とも

情報交換を行っており、国に補助制度の新設を県とともに要望していかねばならない。



県庁にて研修

### ●自衛隊佐世保地方総監部 (佐世保市) 調査事項：離島防衛について

#### 【委員会の所見】

昨年度五島市では台風避難を理由に500tの漁船200隻(いずれも中国船籍)が入港、1週間に渡って退去を要請しても居座り続けたという事例もある。国境離島である杵築の周辺においても多数の外国船籍の漁船等が目撃されており、離島の防衛は、島民の安全を守る上で重要な課題である。今回初めて現場で活動されている自衛隊の実情を知ることができた。

## 産業建設常任委員会 (平成30年11月12日～11月14日)

### ●人吉海軍航空基地跡 (熊本県錦町)

調査事項：観光資源の発掘による観光地化の取り組みについて

戦中・戦後の遺跡で、日本軍敗戦時に GHQ が出した「軍事引渡目録」が3年前にインターネットで発見され、地下防空壕とされていたものが、地下工場であったことや魚雷調整場、機械工場、車両工場とそれぞれの施設の名称が判明した。山の中に海軍？地下施設？などの謎からメディアの注目が集まった。

#### 【委員会の所見】

住民も注目していなかった施設が、

戦後70年に施設の名称が判明しメディアの注目を集めることになった。戦争という名称が付いている関係で、観光に使っていいものが



航空基地跡について説明を受ける委員



ひみつ基地ミュージアムを視察

という意見も多数あったが、ひとつひとつクリアして取り組みが進められた。NHKなどのメディアやSNSでの宣伝効果が大きいものと思われる。

### ●天草パールセンター、リゾラテラス天草 (熊本県上天草市)

調査事項：イルカとのふれあい体験による魅力ある施設運営の取り組みについて 他  
多目的施設等の併設状況について 他

#### 【委員会の所見】

天草パールセンター内の中古の大型船舶を利用した水族館は、アイデアもよく工夫された施設であるが、維持補修等の費用がかかると感じた。併設のイルカふれあいコーナーの場所は、潮の流れが速く汚泥の堆積のない恵まれた施設である。浅瀬の砂浜でのイルカタッチもよいプログラムである。

リゾラテラス天草は、テレビ放送により来客が増加した。このことはメディアやSNSの宣伝効果が大きいものとする。観光施設だけでなく、近くにお客を集めるためのレストランや体験施設などを併設するののも一つの方法だと考える。

## 議会広報特別委員会 (平成30年10月31日～11月2日)

### ●鹿児島県始良市 (始良市議会)

調査事項：議会だより編集について

議会だよりは、広報広聴特別委員会広報班の委員12人で編集している。基本姿勢は、市に対する監視機能・政策提言機能を充実させるとともに、市民の参画意識を呼び起こすよう心掛けている。

#### 【委員会の所見】

始良市は、合併前の旧始良町と旧蒲生町の議会広報誌で、町村議会議長会広報コンクールにおいて日本一や入選を果たしている。一般質問に関する部分は、質問答弁あわせて15行程度と極めて文字量が少なく、写真の面積が大きかった。「あいら看板方式」という見出しの付け方にも工夫があり、視覚的に見やすい印象を受けた。文字量が少ない分は二次元コード(QRコード)を配置しており、スマートフォンなどで一般質問の動画が見られるように配慮されていた。読者が、より議会を身近に感じられる工夫がされているように感じた。

### ●鹿児島県阿久根市 (阿久根市議会)

市議会と市長に対して市民による解散請求の事例や、市長と議会の対立等による市政混乱が全国的に

報道されたことがある。現在は積極的な情報公開、議員間討議、市民に開かれた議会、市民参加の推進に取り組んでいる。

#### 【委員会の所見】

阿久根市の議会だよりは、QRコードの表記が多用されており、議場に足を運ばなくても議会の様子を視聴することができる。市議会ホームページにも容易にアクセスできるため、活字だけの表現よりも一層理解を深めることが可能であると感じた。討論のページでは、発言者全員の内容が、記名入りで記載されており、活発に交わされる議論の臨場感が読者に伝わると考えられる。壱岐市も音声データはホームページで聞くことができるので、まずは議会だよりへQRコードの配置を検討していきたい。



編集方法等について説明を受ける(阿久根市議会)



# 12月会議で決めたこと

## ◆ 壱岐市自治基本条例の制定について

市民が主役であり、市民一人ひとりが責任を持ち未来につなぐ活力あるまちづくりの実現を目指していくため、壱岐市自治基本条例を制定する。

市民の権利と責務並びに市議会及び市長等の責務を明らかにし、自治の基本原則及び市政運営に関する基本的事項を定めるものである。

具体的にはこれからだが、どんなことを想定しているのか…。

### これまで

行政のまちづくりは一律公平な施策であり、地域ごとの課題に対応することが非常に困難になってきた。少子高齢化や個人の価値観の多様化、社会環境の変化などにより、コミュニティの意識が薄れ、まちづくりに限界が生じてきている。



### これから

行政主導によるまちづくりでは困難な課題について、市民が課題解決を行うことに積極的に参画する協働型社会を目指し、「市民と協働」の取組みをはじめていく。  
(5年、10年先の将来を見据えた対策を今から行うことが重要)

## ◆ 副市長の選任について

前副市長の辞任に伴い、眞鍋 陽晃 氏の選任について同意した。副市長の任期は、平成30年12月18日から4年間。

## 平成30年度 補正予算

一般会計の12月補正額計	13億6,200万円
特別会計の12月補正額計	△244万4千円
一般会計+特別会計補正後の予算総額	13億5,955万6千円

### ○ 一般会計、特別会計予算一覧

(単位：千円)

会計名		現計予算額	12月補正額	補正後予算額合計
一般会計		28,100,800	1,362,000	29,462,800
特別会計	国民健康保険	4,490,422	1,210	4,491,632
	後期高齢者医療	335,016		335,016
	介護保険	3,587,070	641	3,587,711
	下水道	397,134	△4,808	392,326
	三島航路	125,248	513	125,761
	農業機械銀行	140,933		140,933
	合計	9,075,823	△2,444	9,073,379
一般会計・特別会計の合計		37,176,623	1,359,556	38,536,179

### ○ 企業会計予算一覧

(単位：千円)

会計名	内 訳	現計予算額	12月補正額	補正後予算額合計
水道事業会計	収益的収入	937,021	△12,310	924,711
	収益的支出	923,073	△20,940	902,133
	資本的収入	118,059		118,059
	資本的支出	280,651	8,630	289,281



## どえな予算のあと？



### 小・中学校及び幼稚園空調設備設置事業 総額6億6,439万4千円 (ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金 7,959万4千円他)

熱中症対策として普通教室に空調設備を設置するため、設計・監理業務及び設置工事を行う。小学校18校125教室、中学校3校25教室、幼稚園8園10教室に空調設備が設置される。

なお、芦辺中学校については建設中の新校舎に設置、石田幼稚園についても認定こども園に設置されるため予算計上はされていません。

### 汚泥再生処理センター維持管理費等 2,709万円

汚泥再生処理センターの維持管理等に係る経費を増額する。

- (内訳) ・汚泥収集運搬処分業務が増加したための経費 ・施設修繕料の増加  
・施設光熱水費の増加

### 有害鳥獣被害防止対策事業 (タイワンリス捕獲) 574万円

市内全域におけるタイワンリスの捕獲数の大幅な増加見込により、協議会へ委託料のうち、捕獲者への報酬分を増額する。

- (変更内容) 変更前：10,000匹×700円 → 変更後：18,200匹×700円  
※平成30年上半期実績 9,629匹

### 住宅管理費 1,278万6千円

経年劣化による住宅設備修繕料の増加及びガス漏れ警報器の不具合が発生したため、取替えを行う。

## 議場が変わりました!!

音響効果向上のため議場の改修工事を行い、12月会議より新しい議場で議会が行われました。

工事内容は、床をじゅうたん張りにし、議席を階段状にしています。また、使用していなかった和室を会議室として使用できるよう改修しました。



### 呼子 好 議員の議員辞職について

一身上の都合により、平成30年12月18日付けで辞職願が提出され、当日の本会議で許可されました。議員在職は9年4カ月で、その間、市政発展にご尽力されました。お疲れさまでした。



# 委員会レポート



## 総務文教厚生常任委員会

12月会議で付託された5議案については、全て可決、承認した。

### 【主な質問】

**Q** 各岐市の健診率はどのくらいか。健診率をアップさせる方策は考えているか。

**A** 本年度の特定健診の受診率は、53%の目標に対して、50.4%である。

未受診の方には、個別にハガキを送付するなど特定健診の受診を呼びかけている。

### 【委員会意見】

議案第74号の各岐市健康づくり推進委員が廃

止されたことによって、特定健診の受診率が低迷することが懸念される。特定健診の受診、健康づくりが介護予防につながるものと考えられるので、特定健診受診率の向上の働きかけを積極的に行うこと。

議案第75号の各岐市内に住む65歳以上の規則的な食事づくりが困難な一人暮らし・高齢者夫婦の方々に対して、栄養のバランスがとれた夕食を自宅まで届ける「介護予防配食サービス事業」において、サービスを受ける方々の声を聞くことと改善の余地がある。配食の食材内容や原価率を再検討し適切なサービスに努めること。

## 予算特別委員会

12月会議で付託された平成30年度一般会計補正予算について審査し、全会一致で可決した。

### 【主な質問】

**Q** 汚泥再生処理センターの維持管理経費の増額の内容について。

**A** 施設修繕工事の2,550万円については、中央操作における漏電遮断器、安定化電源、グラフィック表示器などアクティブフィルターと呼ばれるものや処理制御パソコンのメインボードなどの取替修理である。

施設の運転稼働中における処理状況の推移や部品等の損耗具合により、早い段階において手立てを講じておく必要がある。

また、し尿処理は島内には他に施設がなく、本施設が1日でも運転を停止することは即住民生活への影響を及ぼすため、注意を払いながら運転を行うとともに、予見されるものについては予め備えておく必要があるために今

回増額の補正をした。

**Q** 有害鳥獣タイワンリスの農林被害の状況及び被害額は。

**A** 被害額等の把握はできていないが、自家用の野菜等の被害がでているのは聞いている。

**Q** 線越明許費の大里環状線の工期が4月30日まで延期になっている。小中学校の通学路等になっているため、安全対策と地域へ説明をするのか。

**A** 安全対策については、請負業者に徹底するように指導している。関係者や地域には、改めて説明を行う。



工事のため迂回して下校する小学生達

## 産業建設常任委員会

12月会議で付託された6議案については、全て可決、承認した。

### 主な質問

**Q** 自治基本条例について、今後、吉崎市がどのような姿を目指しているのか細部についてまで分からないが、いつからどのような方法でやっていくのか。

**A** 今後設置する行政区設置検討委員会（各町公民館連絡協議会長など12名）の中で、どのような単位（小学校区ごとなど）にするのが決定したら、地域ごとに協議会を立ち上げていただく。協議会が、その地域の課題や解決策の洗い出しを行い、計画を作成し、活動していく。まずは、地域で説明会を開催し、必要に応じ、勉強会、ワークショップ、地域づくりアドバイザーの派遣等を考えている。

地域の方が自ら考え、地域活動が活発になるよう、課題解決を図るための取り組みを行う。その取組みに対する必要経費は、市が一定の規準に従って交付金を交付するというイメージである。



常任委員会の様子

### 【委員会意見】

議案第72号は、吉崎市が目指す市民自治の姿や、その枝葉となる細部についての今後の見通しがまだ見えてこない。条例の施行にあたっては、地域住民や自治公民館長、議会に対するきめ細やかな説明を十分に行い理解を得て取り組むこと。

### 視 察

議案審査後は、市内現地視察を実施。

有人国境離島法の交付金を活用し、勝本浦でゲストハウスを運営している LAMP 吉崎を視察。また、地方創生推進交付金を活用して観光集客拠点として再整備しているイルカパークを視察した。



## ま め 知 識

～議案審査の流れ～

### 本会議で提案

市長等から議案の提案説明を受け、質疑を行った後、詳細な審査を行うため常任委員会に審査を委ねます。（委員会付託）  
※常任委員会の審査を省略する場合があります。

### 常任委員会で審査

各課等から議案の説明を受けた後、委員から質疑を行います。  
その後、委員間で討論し委員会での審査結果を決定します。

### 本会議で決定

委員会で決定した審査結果を委員長が報告し、その後、議員間で討論・表決を行い決定します。

## 議案と審議結果一覧表

開催月	議案番号	議 案 件 名	付託委員会	本会議採決結果
12月	議案第66号	平成30年度苓崎市一般会計補正予算（第4号）	省略	12/4 可決
	議案第67号	長崎県市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び長崎県市町村公平委員会共同設置規約の変更について	総務文教厚生	12/18 可決
	議案第68号	苓崎市長、副市長及び教育長の給与に関する条例及び苓崎市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	12/18 可決
	議案第69号	苓崎市職員の給与に関する条例及び苓崎市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	12/18 可決
	議案第70号	苓崎市手数料条例の一部改正について	産業建設	12/18 可決
	議案第71号	指定外来種等による生態系等に係る被害の防止に関する条例の一部改正について	産業建設	12/18 可決
	議案第72号	苓崎市自治基本条例の制定について	産業建設	12/18 可決
	議案第73号	平成30年度苓崎市一般会計補正予算（第5号）	予算特別	12/18 可決
	議案第74号	平成30年度苓崎市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	総務文教厚生	12/18 可決
	議案第75号	平成30年度苓崎市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	総務文教厚生	12/18 可決
	議案第76号	平成30年度苓崎市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	産業建設	12/18 可決
	議案第77号	平成30年度苓崎市三島航路事業特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	12/18 可決
	議案第78号	平成30年度苓崎市水道事業会計補正予算（第1号）	産業建設	12/18 可決
	議案第79号	損害賠償の額の決定について	省略	12/18 可決
	同意第2号	苓崎市副市長の選任について	省略	12/18 同意

### ※賛否（賛成、反対）のあった議案

○……賛成    ×……反対

議案名番号	山川	山内	植村	清水	赤木	土谷	久保田	呼子	音嶋	町田	鵜瀬	中田	市山	牧永	豊坂	賛成	反対	結果
議案第68号 苓崎市長、副市長及び教育長の給与に関する条例及び苓崎市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	忠久	豊	圭司	修	貴尚	勇二	恒憲	好	正吾	正一	和博	恭一	繁	護	敏文	9	5	可決
議案第69号 苓崎市職員の給与に関する条例及び苓崎市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	○	欠席	×	○	○	○	○	×	○	11	3	可決

小金丸益明議員は議長のため採決には入りません。

#### 【議案第68号】

##### 反対意見

- 過去2回否決したのは、市民との格差が問題で否決したと思っている。1次産業をはじめ各産業など非常に厳しい状況が続いており、格差は縮まっていない。人事院勧告に基づくものとか他市町と比較してなどではなく、苓崎市の問題でありどう検討しても賛成できない。
- 中期財政計画では、今年度から平成37年度まで赤字状態との説明があった。この状況が分かっていながら、さらに歳出を増やす今回の議案については市民の理解が得られない。



# 一般質問

## 11人が登壇 市政を問う

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。

右下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ってダウンロードすると、一般質問の音声を視聴できます。

※読み取り方法は、スマートフォン等の機種によって異なります。

※ダウンロードすると、通信料が発生します。費用は利用者の負担になります。



植村 圭司 議員

**質問** 沓岐こどもセンター事業の改善と充実を

**答** 職員の確保と配置に努力する

**植村** 子どもの心身や言葉の発達支援を行う沓岐唯一の療育事業や、子育て支援事業として子育て相談・交流の場を提供している「沓岐こどもセンター」が、不安定なまま運営され、サービスの無期限休止や一時休止となっている。専門家の支援を受けるのも厳しい状況。「子育ての島」として改善策を。

**市民部長** 指摘のとおり。今後も職員の確保に努める。地域おこし協力隊の活用、関係機関との協議などで職員配置に努める。

**市長** 早急に取り組む。こどもセンターの組織自体、中身を見直すことも含めて取り組みたい。



建物前にある手作りの看板

### 旅行者の欠航延泊費の拡大を

**植村** 企画乗船券で来島された方以外に、ウルトラマラソンなどのイベント参加者にも対象を拡大し、

より集客増を目指しては。

**企画振興部長** 事業費が増える課題がある。誘客に向けすばらしい制度なので、県に対して継続、拡大の要望をしたい。

### 観光大使に任期等をつけては

**植村** 昨今、何があるか分からない時代。観光大使が「ふさわしくない行為」をすることも想定されるので、任期や解任条項を付けてはどうか。

**企画振興部長** 市観光大使設置要綱制定から10年たった。より効果的にするため、任期、解任条項を含め今年度中に見直す。

### 入札制度改革の方針は

**植村** なぜ県警から「より適切な入札制度のあり方を研究するように」との意見があったとお考えか。どのように、いつまでの研究か。

**市長** 市の入札に何らかの問題があるとの情報があったことで、その要因が市の入札制度にあるのでは、とされたと推察。市建設工事等指名審査委員会で、来年度当初に向けて見直しを図りたい。結果は速やかに公表する。

**植村** 内部だけでなく外部委員も必要。「殺菌は、日の光にさらすのが一番だそうさ」という言葉がある。公表できるところは進んで公表してほしい。



清水 修 議員

**質問** 自治基本条例をこの時期に制定する意図は

**答** 協働のまちづくりを進めるため

**清水** 自治基本条例制定を急ぐ理由はいかに。4月から予定されている「地域自治協議会」と現行の「地域担当職員制度」との違いは。

**企画振興部長** 人口減少対策は最重要課題であり、将来を見据えた新たなまちづくり対策に取り組むために、自治の基本を明文化し、市民と協働のまちづくりが推進できるようにした。地域担当職員制度は、地域と行政の橋渡し役として支援してきたが地域組織を運営するものではない。新たな地域コミュニティは、市民が主体的にまちづくりを行うための地域組織となる。

**清水** 今後の見通しとモデル地区の指定等はあるのか。

**企画振興部長** 自治公民館制度はそのまま残し、地域にある団体等を活かして新たなコミュニティの形成に向け校区ごとに説明会を行う。校区ごとの交付金活用事業を参画してモデル地区として手を挙げて

もらい進めていく。

### 子育て支援について

**清水** 転入者に好評である壱岐こどもセンターの運営をどのように考えているか。専門職の確保を。

**総務部長** 嘱託職員の募集をしているがなかなか応募者がいないので、現在、職員採用試験に社会人経験者枠を設け、作業療法士も含めて募集の改善を図っている。配置については全体的なバランスを見て考える。

### 安全安心のまちづくりについて

**清水** 水道事業の現状課題と今後の見通しは。

**建設部長** 水道法改正内容は、広域連携や官民連携の推進等がある。本市も施設等の老朽化や料金収入減による経営悪化を防ぐため、簡易水道を水道事業に統合し運営。水道施設の運転監視や保守点検業務を民間委託している。コンセッション方式<sup>(注1)</sup>の導入については、県内の動向等を勘案しながら研究していく。

(注1)

コンセッション方式

水道施設の所有権を地方公共団体が保有したまま、料金徴収を含む施設の運営権を民間事業者へ売却・委託する民営化手法。



久保田恒憲 議員

**質問** 効果的な防犯パトロールを

**答** 市としても積極的に推進する

**久保田** 私の公民館では館長の呼びかけで、防犯チラシを各戸に配りながら声掛けをする防犯活動を2年間続けているが、他の地域の活動が知りたい。

**総務部長** 柳田地区は、地域内の危険箇所マップを作成するため、子ども等へアンケートを実施し、その結果を基に危険箇所パトロールを行うなどの独創性が認められ、平成29年度に県知事表彰を受表彰された。パトロールは危険箇所の発見や、犯罪発生の減少にも有効と考えるので、市としても関係機関及び地域住民と一体となった防犯活動の取組みを積極的に推進する。



### まちづくり交付金がもらえる事業とは

**久保田** まちづくり交付金の対象となる事業・活動

の第一段階は終わったと思う。今後はどのような活動、事業をすれば交付金がもらえるのか尋ねる。

**総務部長** 交付金の対象となる福祉保健部と自主防災組織の取組みについて、公民館の実情に応じた取組みと体制づくりをしていただきたい。効果が出るような取組みをコミュニティでしていただけるのであれば、皆さんにわかりやすくまとめたものを今後示していきたい。

### 医療安全相談センターの周知を

**久保田** 大切な健康や命を守るために医療は重要だが、医療に関する相談窓口である「壱岐地域医療安全相談センター」が、壱岐保健所内にあることがあまり知られていない。県の機関とはいえ市としても周知すべきではないか。

**保健環境部長** 広報誌には掲載したが、壱岐保健所と連携して啓発に取り組むとともに、市への問い合わせにも迅速に対応できるよう職員への周知にも努める。





赤木 貴尚 議員

**質問** 壱岐市職員が事情聴取された事について

**答** 今回を契機に、よりよい制度改革の取組みを行っていく

**赤木** 長崎県警から壱岐市建設業界入札に関して、市職員が事情聴取されたことをどのように理解したか。

**総務部長** 長崎県警本部の捜査の中で、平成29年10月に実施した長島地区放射線防護対策施設整備工事（建築主体工事）の入札等に関して、平成30年10月に複数回、任意の事情聴取を受けた。全て真実を話し、入札への不適切な関与について事実無根であることを終始説明した。結果として、11月10日の午前には県警本部の捜査官より、「あなたの件については、本日をもって捜査を完結する。何もありません」と言い渡された。その他のことについては言えないとのことだった。

事情聴取では、捜査官より捜査全体が長引く可能性を示唆され、あわせて関係者との接触、証拠隠ぺい等の行為があれば、あなたにとって不利な状況をつくることになると告げられたため、10月16日に市長に当該内容を報告し、登庁すれば、他の職員等にも捜査の範囲が広がり混乱を招くおそれがあること。捜査が長期化すれば、業務継続に支障を来すことから、一身上の都合による退職願を申し出た。しかし、市長は「信頼している。」と述べられ、退職の願いを強く拒否され、受理されなかった。一旦は退路を断つことも考えたが、市政への業務継続と今回の件についての説明責任を果たさなければならないこと、私に信頼を寄せていただいた方々の思いに応えるために、今回登壇させてもらった。市幹部職員として20日間もの長期休暇をとり、市民皆様に不安を与え、少なくとも壱岐市のイメージに負の印象を与えたことに深くお詫び申し上げる。今回を契機に入札制度の適正化等には、万全の対策を持って、よりよい制度改革の取組みを行っていききたい。



音嶋 正吾 議員

**質問** 海運業支援対策の拡充策を

**答** 国、県への要望を検討する

**音嶋** 現在、壱岐の海運業を取り巻く課題は船員不足である。後継者対策、転職者対策等の支援対策についての見解を。

**企画振興部長** 本市の奨学金制度、全日本海員組合の船員職業を志す学生が利用できる奨学金制度がある。また、事業者が船員の確保、育成を目的として利用可能な船員計画雇用促進助成金制度が利用可能である。

免許取得対策では、海運組合の組合員対象者枠で、海技資格取得研修補助事業の支援対策が適用可能である。

**音嶋** 船舶の大型化によるマリナル壱岐前の印通寺港岸壁泊地の水深が浅く利用に不備を来たしている。

**農林水産部長** マリナル壱岐前の岸壁は、マイナス4.5m、フェリー着岸泊地はマイナス5m、港内の泊地はマイナス3m～マイナス5mである。県が



マリナル前に停泊中の汽船

深淺測量調査をしてから14年が経過する。汽船組合、海運組合と協議して、県へ調査について要望する。

### 瓦解する市政への信頼

**音嶋** 長崎県警捜査2課の捜査は、官製談合の疑義による捜査であると考え。「火のない所に煙は立たず」である。全く根拠がなければ、県警が捜査に入るといえることはないと考え。

**市長** 建設業者の談合疑惑の調査の過程で、市職員数名に事情聴取が行われたものであり、官製談合の疑義は皆無である。また、「入札制度のあり方を改善しては。」との意見をいただいたので、さらなる適正な入札制度等について研究していききたい。今回、県警の捜査意見により行政の潔白は証明済みであり、疑義は払しょくされたと考える。



山川 忠久 議員

質問 事業承継について

答 関係機関と連携して支援

**山川** 島内の多くの事業所が後継者不足という問題に直面しており、親子関係の問題もあり、事業承継が進んでいない。第三者承継ということも考えられるが、その支援策は。また、商工会主催のセミナーなどに職員が参加し、実情の把握を。

**企画振興部長** 長崎県事業引継ぎ支援センターや商工会、Iki-Bizなどと連携し、支援していく。また各種セミナーについても職員のスキルアップも目指し可能な限り参加を促す。

**山川** ローカルアソシエイトという青年経済人の集まりもあり、壱岐市でも開催を検討中。ぜひ多くの参加を。

### 地域おこし協力隊への支援

**山川** 壱岐に赴任する前に思い描いたことと現実と

の間に隔たりはないか。また任期終了後の定着・定住に向けてどのように支援するか。

**企画振興部長** 協力隊員に聞き取りを行ったところ、市役所特有の業務の進め方に戸惑いはあるものの特に大きな隔たりはないとのこと。また、任期終了後については、壱岐市の起業支援補助金や国境離島の雇用拡充事業など周知を行い支援する。

**山川** 他の地域で素晴らしい取組みもあるし、壱岐市にも成功事例がある。今後もサポート体制の充実を。

### 防災について

**山川** 平成30年6月に出された避難勧告のタイミングは適切だったか。またその上の段階の避難指示についてだが、さらに強い表現で避難命令としては。

**総務部長** 避難勧告は発令基準に沿った適時の発令をしている。また避難勧告等については国のガイドラインに沿ったもので表現としては適切と考える。市民におかれては自らの判断で動いていただくのが原則。



豊坂 敏文 議員

質問 水産業の振興について

答 国・県に対し、漁協等と協力し要望していく

**豊坂** マグロの漁獲量制限に対し、漁業者に分かりやすい説明をするよう、市として国・県に対し要望すべき。

**農林水産部長** 漁業関係者への説明は継続して行われている。クロマグロ資源については、平成27年度以降3年連続上向きとなっており、国は中西部太平洋まぐろ類委員会へ増枠を要望したが認められなかった。今後市として強く要請する。

**豊坂** 操業自粛による漁獲収入減に対して、国として補填策が得られるよう早急な見直しを県と合議すべき。

**農林水産部長** 漁業収入安定対策事業加入者については補填がされている。本年7月には加入要件の見直しがされ、緩和されている。

**豊坂** 巻網と定置網により、クロマグロの小型魚が大量に漁獲されている中、共同管理の中での漁獲枠に対し、県・市等として国に意見具申を。公助とし

て、今行使すべき。

**市長** 国・県に対し、漁協等と力を合わせ要請していく。

**豊坂** 藻場対策の改善策と現状の対応はいかに。

**農林水産部長** 現況、県事業等により実施されたが回復されておらず、植食性動物対策と併せながら積極的に取り組む。

**豊坂** 漁協、漁家、法人等に対し、地方創生、有人国境離島法の活用を図り、雇用の拡充策について今すべき。水産事業についても国・県・市等の連帯間振興策を考案し論議実現すべき。また、魚の養殖業についても餌の高騰で採算がとれず廃業もあり厳しい状況が報道されているが、漁協と事業の掘り起こしを今すべき。

**農林水産部長** 有人国境離島法等を活用し、漁協等と事業の掘り起こしに努める。



年末の勝本港の様子



鵜瀬 和博 議員

**質問** 福岡事務所の機能強化を

**答** 趣旨は同感。早急に研究を図る

**鵜瀬** 交流人口は対前年比増、福岡事務所の存在意義は大きい。博多駅前移転立地による効果と来訪者の違いは。

**企画振興部長** 窓口相談件数は減少。好アクセスのためメディア系など業者の来訪が増え、情報量や質の高さが増した。

**鵜瀬** 営業やイベント、サポートショップの支援協力、市ふるさと商社との販路拡大などの事務・業務量も増大。正職員1名を2名体制へ。

**企画振興部長** 事務量・分掌を見直し、行財政改革の中で早急に研究を図る。

**鵜瀬** 土日閉所の検討を。

**企画振興部長** 来訪者や費用対効果を含め検討する。

**鵜瀬** 県、対馬、五島と共同開設し、情報共有や様々な離島イベントも強力展開可能に。

**企画振興部長** 今後の事業計画など三市三様。すぐの対応は大変厳しい。

**鵜瀬** 災害支援など福岡市との連携強化は重要。今後の取組は。

**市長** トップセールスなどスピード感をもって取り組む。

**合併後15年。機構改革実施を**

**鵜瀬** 関係課が各庁舎に配置され、市民にはわかりづらく不便。郷ノ浦庁舎の市民福祉課、保護課、こども家庭課と芦辺の教育委員会、保険課、健康増進課を一緒にし「ゆりかごから墓場まで」一貫した市民サービス提供とワンストップ窓口の庁舎へ。

**市長** 市民の利便性は高まり賛成であるが、人口重心付近である郷ノ浦庁舎への配置が最適と考えるが、狭いので現実的でなく、利便性等を考慮した上で総合的に判断する。

**鵜瀬** 様々な要因により第一次産業は大変厳しい。産業振興の専門職育成は重要。農業、水産業専門職の採用と県との人事交流を。

**市長** 農協・漁協・県など専門機関と連携し、人材育成に取り組む。県人事交流は柔軟に対応。



郷ノ浦庁舎窓口



山内 豊 議員

**質問** Happy氏は観光大使にふさわしくない

**答** 解任条項等を含め今年度内に要綱を見直す

**山内** 10月に行われた縄文祭では、島外から約2000人の方が来られ、経済効果も十分にあったにも関わらず、市長の行政報告には一言も触れられていなかったのはなぜか。本市の観光大使でありながら。

**市長** 有料で行うイベント時の指針が内部でなかったということと、今回の件で私自身がはっきりとした態度を示さなかったのが大きな原因であり、その点は反省している。

**山内** イベント民泊の募集から中止となった理由は、宿泊施設のことも考慮していたのか。

**企画振興部長** 当初は宿に泊まるということであったが、野宿を希望したため中止にした。

**山内** 宿泊施設にキャンセルをしない方向で泊まっていただけのように提言してもよかったのではないかと。

**企画振興部長** 入場料に寝袋も含まれており、参加者の多くの方が野宿を希望したためやむを得なかつ

た。

**山内** 「縄文祭」の総括は。

**企画振興部長** 賛否両論あるが、今回のようなイベント時にはしっかり地元の方々への理解と周知が必要である。

**山林火災について**

**山内** 野焼きの事前連絡を受けてからの消防署の対応は。

**消防長** 野焼きの際に、その場を離れず消火の準備をし安全を確保することなど指導している。届け出があった焼却行為については、ほとんど火災は発生していない。今後も火の取り扱いには十分注意をお願いしたい。

①火煙上昇届の届出件数

年	件数
平成28年	855件
平成29年	967件
平成30年	785件



※平成30年については11月末現在。

②山林火災に出動した平均消防団員数 約35人

③発生から鎮火までの平均出動時間 約17分

※②と③は過去3年間の平均



土谷 勇二 議員

**質問** 郷ノ浦港ジェット  
foilに浮棧橋を

**答** 前向きな対応をしていただいている

**土谷** 今回のジェットfoil乗り場は、干満の差で1階、2階を利用しているが安全安心のため浮棧橋にすべきであり、国や県に要望して早急な実現を。

**農林水産部長** 県港湾課に対して、直接実情を説明し浮棧橋設置の必要性を訴えており、前向きな対応をしていただいている。引き続き要望を行っていく。

**土谷** ジェットfoilは製造より27年と33年になり、更新時期が近づいていると思うが、更新はできるのか。

**総務部長** 県においても、国にジェットfoil建造に対する補助制度の創設について要望をしていただいている。ジェットfoilは島民生活の足としての役割だけではなく、市民の生命を守る救急搬送、観光振興の重要な交通手段でもある。今後もあらゆる機会を利用し要望活動に取り組む。

**土谷** 郷ノ浦港の玄関口、以前は滝が流れていたの

になぜやめたのか。一番目立つ場所なので何か有効に使えないか。

**企画振興部長**  
施設の老朽化等

があり再開できない。滝部分の整備だけでなく、その他を含めて整備やPRする場所ということを考えていかなければいけない。



ジェットfoilの2階から乗船する乗客

### 住宅リフォーム支援事業について

**土谷** 住宅リフォーム支援、老朽危険家屋除却支援、三世帯同居・近居促進事業の進捗状況と次年度も継続するのか。

**建設部長** 住宅リフォーム支援は昨年度までの4年間で503件、8005万4千円、老朽危険家屋除却支援については昨年度までの5年間で18件、811万8千円。2つの事業は次年度も継続して取り組む。三世帯同居・近居促進事業は、国・県の動向次第となるため、動向を注視し検討する。



市山 繁 議員

**質問** 離島の欠航延泊費  
補償制度の対象は

**答** 「長崎しま旅わくわく乗船券」  
利用者など

**市山** 壱岐・対馬・五島と本土を結ぶ航路が欠航した場合、1泊1万円を上限に2泊までを実費補償する制度が実施される。対象は、長崎しま旅わくわく乗船券利用者とされているが、どのような内容か。

**企画振興部長** 県の事業で今年度200万円の事業費である。長崎しま旅わくわく乗船券は、企画乗船券ということで、体験メニューをセットにし航路運賃を安くする制度で、今年度は実証事業であり来年度以降は県と市で協議する。

### 18歳以上の成人式の開催について

**市山** 2022年4月1日から18歳から成人となる。成人式は18歳19歳20歳を一度に開催するのか。年代別で開催するのか。今のうちに協議する必要があると思うが。

**教育長** 2023年1月に迎える成人式は、めったにないめぐり合わせの瞬間であり、壱岐の島が多くの人で埋まる光景は、思い出多き感動の成人式になると思うし、壱岐市の未来に期待が生まれ、みんなで共有できる式典となる。壱岐市としてもじっくり考えていきたい。

### 新葬斎場建設について

**市山** 平成30年の事業であったが談合情報があり入札延期、8月24日の入札では入札不落。電気設備工事は業者が決定している。次の入札予定について。

**保健環境部長** 入札については、11月21日受付開始、12月21日に開札としている。

**市山** 新葬斎場建設を機会に、葬斎場の管理運営の業務委託も考える必要がある。他市では、メンテナンスのこともあり建設業者に委託もあると聞かす検討されては。

**保健環境部長** 新葬斎場の運営については、設備・機械等のメンテナンスを考えると、他の自治体でもあるように火葬炉の設置業者への業務委託も視野に入れて十分検討したい。

## お知らせ

### 第6回 議会報告会

みなさんと語り合う「座談会」を行います！

あなたの思い、あなたの意見をお聞かせください。

#### ■産業建設常任委員会

2月13日(水) 午後6時30分～

場 所：石田農村環境改善センター

内 容：沓岐市の産業について

#### ■総務文教厚生常任委員会

2月14日(木) 午後6時30分～

場 所：芦辺町クオリティライフセンターつばさ

内 容：子育て・教育・健康・福祉・防災など

## 市民の声

「議会だより第59号」クイズ  
応募者よりいただいたご意見  
ご感想です。

じっくり読むと今の沓岐の問題や今後の展望などがよく分かり勉強になりました。生活に直結した内容であり、読む前と後では、沓岐の内情が分かりやすさが違いました。ところどころに沓岐の方言で書かれている部分が親しみやすさ倍増でとてもいいなと思いました。今後も分かりやすい情報をよろしくお願いします。(37歳)

子ども議会を読ませていただきました。中学生が本当に頼もしいなあと感心しました。(30歳)

沓岐も高齢化が進み、人口も減少してさみしくなりました。でも、自然災害も少ない住みよい島です。もっともっとアピールして人口を増やしてください。(63歳)

小島神社

クイズに答えて図書カード(1,000円)が当たります。  
皆様のご応募待ってま〜す!!

# 議会だよりクイズ

この議会だよりの中に  
答えがありますので、  
最初から最後まで良く  
読んでみてください。



1月6日消防出初式

**Q1** 志岐市〇〇基本条例が  
制定された

**Q2** タイワン〇〇の捕獲数が  
大幅に増加

**Q3** 常任委員会に審査を委ね  
ることを〇〇〇〇〇と  
いう

## 第59回クイズの答え

- ①たばこ
- ②8月29日
- ③イルカ

## 第59回クイズの当選者

立場川民代 様  
西 圭介 様  
松本 梅野 様  
角谷 麻帆 様  
濱田 智子 様  
おめでとうございます!

**《応募方法》** クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。議会だよりを読んだご感想や、市政へのご意見・ご要望などお書き添えください。ご意見などは、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は次号に掲載)

**《あて先》** 〒811-5521  
志岐市勝本町西戸触182-5 志岐市議会事務局宛  
**《しめきり》** 平成31年2月28日(当日消印有効)

## 《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表及び『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

## 編集後記

新年明けましておめでとう  
ございます。

「二年の計は元日にあり」と申しますが、みなさんは計画をたてられましたか?そして今年も元号が新しくなるということで、人生計画を5月から新たにたてられてもいかがでしょうか。

みなさんの計画、人生設計を健やかに達成できますように、私たちも温かく見守っていきたいと思います。今年も皆さまにとって幸多き一年となりますことをご祈念申し上げます。

本年もよろしくお願ひいたします。

山内 豊



議会広報特別委員会  
委員長 植村 圭司  
副委員長 久保田恒憲  
委員 山内 忠久  
山内 豊  
清水 修  
土谷 勇二  
牧永 護

## お知らせ

志岐市ホームページ  
<https://www.city.iki.nagasaki.jp>の市議会の  
インデックス(見出し)を検索すると、市長行政報告及び議員の一般質問の首声を生で聞くことができます。また市議会会議録は、議会事務局・市役所郷ノ浦庁舎(総務課)・各庁舎(市民生活班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。

## 公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞い等の金品を送ることや、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状や有料の広告は禁止されております。  
市民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。  
志岐市議会議員一同

## 編集 議会広報特別委員会

〒811-5521  
長崎県志岐市勝本町西戸触182-5  
TEL : 0920-42-1114  
FAX : 0920-42-0096  
【E-mail】 [iki-gikai@city.iki.lg.jp](mailto:iki-gikai@city.iki.lg.jp)  
【URL】 <https://www.city.iki.nagasaki.jp/>



志岐市議会だよりは地球に優しい植物油インキで印刷されています。